

これから研究を始めるみなさんにぴったりのアドバイスです。夏休みに取り組むと、秋学期に効いてくるかも？

裏面には文献管理ツールの情報も。いろいろ試してみてくださいね。



論文読みについて

本記事は研究を開始した学群4年生、もしくは研究に興味のある学群3年生以下を対象としています。私は理系なので、文系の作法は詳しくありません。ご容赦を。

初めて研究の世界に足を踏み入れ、研究を始める皆さんはおそらくきっと、自分が研究をしてみたい分野において、何がホットな話題なのか、何が流行っているのか、逆に何があまり研究されておらず、狙い目なのかといったことはほとんどわからないと思います。もちろん指導教員の先生に一から十まで説明を受けたという人はすでに多くの情報を持っているかもしれませんが、大半の学生は自分で情報を集め、自身の研究への道を作っていく必要があると思います。

そういった学生さんたちには、ぜひ論文をたくさん読んでいただきたいと思います。

論文を読めばその分野の情報をたくさん吸収することができます。これは非常に当たり前、重要であるためほとんどの学生さんは知っていると思います。しかし、私が予想するに、ほとんどの学生さんの読む論文の絶対量は圧倒的に足りていないでしょう。人によっては、研究室のゼミで発表する用の論文を数報読んだだけで、他の論文はほとんど読まずに先生から情報を仕入れるなんてこともあるかもしれません。

これでうまく研究が進むかもしれませんが、そのような場合でも私は論文を読むことを強く勧めます。

というのも、理由は2つあります。

1つ目は、上でも触れたとおり、論文をたくさん読むことによって、自分の分野の情報を自力で入手できるからです。往々にして、大学学部レベルの知識では研究分野で必要とされるレベルに全く届いていません。それを自力で探して読んで身につけることで、自分の知識レベルをなんとか研究レベルに近づけることができます。ここでは自力でやるということが重要です。でないと、いつになっても人のお世話なしでは何もできない状態が続き、社会でも、研究の世界でも存在価値がない人になってしまうからです。

そして論文を読むときは、もしあなたが対象分野の情報をあまり知らないのであれば、初めから最後まで順番にじっくり読むことをおすすめします。大学の授業とかで、はじめに図をみて、次にresultを読んで... みたいな感じの論文の読み方を習ったかもしれませんが、確かにこの読み方は情報をすばやく手に入れるという点では良いかもしれませんが、あれは、分野の情報を知り尽くしている先生が、より見識を広げる際にやる方法であって、0から情報を仕入れるような学群4年生には不向きだと私は思います。情報が欲しい人、ぜひじっくりと読んでみてください。

→裏へ続く

2 つ目の理由としては、自分が論文をたくさん読むことによって、より論理的な思考が身につく、自分の考えていることをいかに整然と論理的に飛躍がないように展開することができるかという練習になるからです。これは、自分の専門分野の知識というよりも、より普遍的で基礎的な能力のことを言っています。大学全入時代と言われて久しいですが、世間が大学を卒業した人に求めるものは、このように誰が読んでもわかるように、自分の考えを論理的に説明する能力だと私は考えています。この能力を養うのに、お手本として論文が最適です。もちろん世の中の論文には、査読してあるにもかかわらず読むに耐えないものもありますが、ほとんどの論文は読み物としての質は非常に優れているでしょう。

以上が私の考える論文を読む意義ですが、最後に論文を読む・管理するツールを紹介して終わりたいと思います。

世の中には、様々な文献管理ツールがありますが、私は、ReadCubePapers を強く推したいと思っています。もちろんメジャーなツールとして、Mendeley や、Refworks がありますが、私が使った限り、これらのツールよりも、ReadCubePapers は情報収集という点で非常に優れています。論文を読んだとき、参考文献リストから、気になった論文を読みたいということはよくあることだと思います。Mendeley などでは、このような気になった論文をググって、ダウンロードして、再び Mendeley に追加するといったような手順を踏むと思いますが、ReadCubePapers では、参考文献リストが自動でハイパーリンク表示され、それを選択するだけで、一発で目的の論文にたどり着くことができます。このひと手間かけない感じが非常に快適です。

ただ、ReadCubePapers も、Mendeley と同じように課金をしないと、すべての機能が使えません。更に、Linux には、デスクトップ用のアプリケーションがないです。

このように欠点だらけですが、一度使ってみると、課金してもいいかなと思うようになります。そこまで高くないし。

一ヶ月は無料トライアルですべての機能が使えるので、この夏休みを機に試してみたいかがでしょうか？ 特に論文管理ソフトを決めていない人！

文責：SASAGAWA



附属図書館のウェブサイトでは RefWorks の案内をしているね。
<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/collection/refworks-guide>
秋学期にはオンラインで RefWorks の講習会もあるんだって。日程は附属図書館からの情報をチェックしておこう。ボクも参加してみようかな？